


ふりがな 氏名	きむら よしかね	都道府県	東京都	
	<b>木村 芳兼</b>			
所属/肩書	<b>鹿角のエネルギーを考える会／代表</b> <b>パタゴニアインターナショナルインク日本支社</b>			
私の ESD活動	<b>私は地域社会が分散型で地産地消できる社会を実現させていく地域づくりを秋田県鹿角市で進めています</b>			

**活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）**

パタゴニアというアウトドアウェアを製造、販売する企業に勤めています。直営店部門の目白店でアシスタントマネージャーをしております。会社のミッションは「最高の製品を作り、環境に与える悪影響を最小限に抑える、そしてビジネスを手段として環境危機に警鐘を鳴らし解決に向けて実行する」のもと、環境団体をサポートして問題解決に向けてパタゴニア直営店を利用して多くの市民に問題を伝える機会をストア内でマネジメントしており、イベントの実施、フィールドワークなどを運営してまいりました。中でも一人から始めた活動を支援したことは自分にとっても有意義な時間でした。導水事業反対の活動を支援したのですが首都圏の水危機による何年も作られないことのない事業です。関東でも鮭が遡上するような豊かな自然をこれからも残していこうと訴えるような団体です。そんな問題を解決に向けてアクションさせていくために地元のフィールドガイドやアウトドアショップを巻き込んで親子に参加をしてもらい自然を満喫し体験し、そして考えるという連続イベントを開催して同時に支援者になってもらい活動に参加をもらうような取り組みを実施しました。

成果としては、その場所に定期的に訪れるような場所が出来て事業を止めることは出来ていませんが小さなコミュニティが出来たことです。そのような取り組みを仕事を通じて働きかけております。

また、個人の活動としては秋田県鹿角市(かづのし)で自然エネルギーシフトの活動をしております。

**今後のESDの発展のために、若者はどのような役割を担えますか？**

次世代に受け継いでいくという有機的な思考のもと実践していくことが社会に対しての責任の果たし方だと考えます。自分たちの消費のあり方や、使い方、また文化を大切に作る心や継承していくこと、社会に完全に依存することをせずに自分の仕事は自分で作っていけるような生き方を教育の立場から支えていけると良いと考えます。